

社会課題を解決する新しい経営の実現へ!グローバルスタンダードとドラッカーの実践から学ぶ

MGL(マネジメントリーダー)養成講座

MGL(マネジメントリーダー)とは、チームリーダーや課長以上の役職者で経営幹部を支えるべき人であり、部下の強みを活かし部門の成果を上げるとともに、業務改革やプロジェクトチームのリーダーを育成しマネジメントできる「部門と全社プロジェクトを的確に率いる人材」を指します。また、経営者の思いを知り業務革新のリーダーシップをとれる人材、AIやIoTなどITを活用しイノベーションに挑戦できる人材でもあります。

好評につき、**第6期開講!**
続々と受講者の声が届いています!
中面をご覧ください。

[日時] 全5回 10/26(木)、11/15(水)、12/15(金)、1/18(木)、2/7(水)
各回10:00~17:00予定(開場9:30)

[会場] 日経BP社(日経虎ノ門別館)ほか ※会場は変更になる場合がございます。

[講師] 森岡謙仁氏[経営・ものづくり・ITアドバイザー/ MGL(マネジメントリーダー)養成講座講師]

定員**40名**
先着順にて締切



他社の取り組みを知り改革の具体策を得る!! 自社の強みを活かしてイノベーションを生み出す

業務改革 部下育成 新商品・新事業開発 ビジネスモデル刷新

本講座の特徴 年齢・部門は不問!意識改革・組織改革を基礎から学べる

- 「自己流ではないマネジメント」を基礎から応用まで体系的に習得**
ドラッカーのマネジメントやグローバルスタンダードの本質と最新動向を読み解き、経営革新を行うための具体策を学びます。
- 多彩なゲストの体験談や講演で深い理解**
現役の経営者や経営幹部、マネジメントリーダー、ITとマネジメントの専門家が現実の取り組みと本音を語ります。
- ワークショップで気づきを得ると同時に、実務の勘所を体得**
具体的なビジネスシーンを題材にしたチーム演習や成果物を完成させるワークショップを体験し、座学だけでは修得できない応用と実践力、さらに業種や職場の異なる受講者同士で互いにコミュニケーション力を養います。
- 講師とのメールや個別相談により確実に理解**
受講中のアンケートを活用し講座期間中であれば、いつでも森岡講師とのメールや個別相談による質疑応答が出来るため、学んだことをすぐに実務で応用することが可能です。
- 本講座で使用するテンプレートをデジタルデータで提供**
本講座で使用する講師が選定した主要なシートやテンプレートをデジタルデータで提供します。本講座で学んだことをすぐ実践することができます。

※本講座の受講者で一定の出席率の方には、「MGL(マネジメントリーダー)養成講座受講修了証」を授与します。

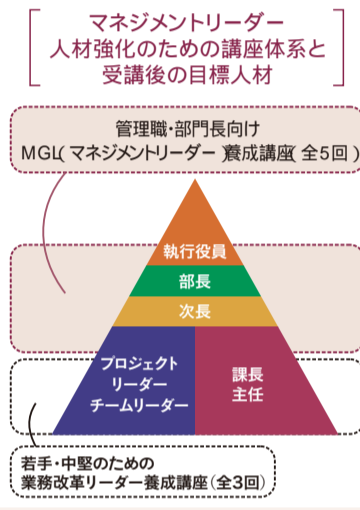
大変お得な、複数名申込割引もご用意しました! 詳しくは裏面・セミナー案内ページをご覧ください。

本コースの受講対象者 現場部門、IT部門管理者は必須!

様々な業種、あらゆる部門の皆様にご参加いただいています

- 経営企画部 ●管理部 ●人材教育部 ●研究開発部 ●業務改革推進部 ●品質管理部 ●品質保証部
- 生産技術部 ●製造部 ●マーケティング部 ●営業企画部 ●営業部 ●情報企画部 ●情報システム部
- IT会社 ●IT子会社 などに所属するチームリーダー(係長)以上の部下をお持ちの方。

【これまでの受講者の業種】 陸運物流/倉庫/メーカー(機械、自動車、電機、電子機器・部品、化学品、医療機器、住宅、食品、スポーツ用品、ファッション・アパレル、玩具など)/IT会社(コンピュータ製造、ソフトウェア製造、ベンダー)/通信/金融(銀行、生保、損保)/リース/電気工事/官公庁/自治体/研究機関/教育/広告/流通/レンタル/電力 など



現役経営幹部を支える
マネジメントリーダーの能力養成と
本講座のプログラム構成

中・上級編	第5回	企業価値を高め社会的責任を果たす経営改革の仕組みをつくる
	第4回	継続的な業務改革をイノベーションにつなげる組織をつくる
	第3回	お客様づくりのビジネスモデルとマーケティングの仕組みをつくる
基礎編	第2回	「目標」と「成果」に集中し職場の生産性を上げる仕組みをつくる
	第1回	組織の成果を上げるマネジメントリーダーの役割と責任

全5回の体系化されたコース

[講師紹介]



森岡 謙仁氏
(もりおかけんじ)

経営ものづくりITアドバイザー/
アーステック(有)代表取締役社長
MGL(マネジメントリーダー)
養成講座講師

精密機械メーカーの品質管理部門、独立系コンピューターディーラーの取締役、開発部門の責任者などを経て、1994年より現職。生産管理、品質管理、技術人材スキルマップ、製品ライフサイクル管理、クレーム管理、サプライチェーン管理、営業改革、新事業開発に携わる。実践的経営管理手法とドラッカー理論およびIT技術を一体とした経営革新を得意とし、マーケティングと製品開発連携などの業務改革プロジェクトをはじめ複数の経営課題を同時に実現するプログラムマネジメントなど、上場企業から中堅企業の助言指導および管理職教育で多くの実績を有する。営利組織だけではなくマネジメントリーダーの育成指導には定評を持つ。

【主な著書等】
「教えてドラッカー 働く私はITでどこまで伸びるの?」(日経BP社)
「図解 ドラッカー入門」「バランススコアカードで会社を強くする手順」(KADOKAWA/中経出版)
「情報システム部ムダとリニアル」(新技術開発センター)
「MOTリーダーの条件」「MOTリーダーの仕事と責任」「MOTリーダーのためのドラッカー「マネジメント」入門」TECHNOVISION連載(新技術開発センター)など多数。

また、ドラッカー「マネジメント」研究会(ドラッカー学会)でファシリテーターを務めるほか、「CO(最高情報責任者)養成講座」(2003年~2008年日経ビジネススクール、2009年以降日経BP社)、「業務改革リーダー養成講座(日経BP社)」で講師を担当。

[講師からのメッセージ]

~人と組織の強みを活かし、
IT(AI、IoT、ロボット)を業務に活用できるリーダー~

グローバル化の進展や国内市場の縮小など、企業を取り巻く環境が大きく変化しています。企業が存続するには、海外の成長力を取り込み、また国内の人材不足を克服するための施策が不可欠です。同時に企業は「働き方改革」の推進も求められており、ホワイトカラーの生産性や業務品質の向上、女性管理職の育成といった取り組みが急務となっています。これらの課題を解決するのは容易ではありません。この状況を克服して持続可能な経営を実現するには、従業員の意識と管理職の働き方の改革、ITの効果的な使い方は外せません。それには、経営者と経営チームを支える部長、課長とその候補者、商品開発や事業開発のリーダー層のマネジメント能力の見直しが不可欠になります。同僚や部下の働く意識を変え、業務改革や組織能力の強化、ビジネスモデルの刷新に貢献できるMGL(マネジメントリーダー)が多数必要なのです。本講座は、各種のグローバルスタンダード及びドラッカー理論の実践から学んだ教訓を体系化した、マネジメント実務強化コースです。グローバル企業に負けない業務のしくみと、人と組織の強みを活かすマネジメントの具体的な方法について、講義とワークショップによって修得します。皆様のご受講をお待ちしています。

受講料

5回コース 209,000円(税込) 定員40名

早期割引価格 199,000円(税込) **2017年10月12日(木)までのお申し込み適用**

複数名割引価格(1名あたり169,000円・税込)もご用意しました。詳しくはセミナー案内ページをご覧ください。

<受講料に含まれる内容>

オリジナルテキスト / 参考書籍「イノベーションと企業家精神」(ダイヤモンド社) / 「教えてドラッカー 働く私はITでどこまで伸びるの?」(日経BP社) / 昼食代
※すでに参考書籍を所有されている場合でも社内研修教材としてご活用くださいますようお願い申し上げます。

会場

日経BP社(日経虎ノ門別館)ほか
〒105-8308 東京都港区虎ノ門4-3-12 TEL.03-6811-8055
最寄り駅 東京メトロ日比谷線「神谷町」駅より徒歩5分 東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅より徒歩7分
※会場は変更になる場合がございます。その際は、受講者に別途ご連絡いたします。

MGL(マネジメントリーダー)養成講座 申込書

下記の必要事項をご記入の上、A4のままでお送りください。<FAX申込締切 10月20日(金)まで>

フリガナ _____

受講者名 _____

フリガナ _____

会社名 _____ ※正式名称をご記入ください。

部署・役職名 _____

〒 _____

住所 _____

会社所在地 TEL. _____

FAX. _____

e-mail: _____

恐れ入りますが、下欄の業種・部署・役職区分の番号に1つずつ○をお付けください。

0. 製造業-消費財	7. 建設-不動産	0. 総務-庶務	8. 物流-輸送	0. 経営幹部
1. 製造業-生産財	8. コンピューター・情報処理業	1. 人事-労務	9. 生産-工場	1. 監査役
2. 卸・小売業	9. その他	2. 経理-財務	10. 研究開発	2. 部長・支店長
3. 輸送業		3. 経営企画	11. 情報システム	3. 課長・係長
4. 外食		4. 営業-販売	12. 国際-貿易	4. 一般
5. ホテル・レジャーサービス		5. マーケティング	13. 法務	5. 専門職
6. 金融-保険業		6. 広報-宣伝	99. その他	9. その他(個人含む)
		7. 秘書		

※ご記入いただいた住所やE-Mailアドレスなどは、日経BP社からの事務連絡にも使わせていただきます。尚、これ以外に日経BP社および日経BPグループ会社から、各種ご案内(刊行物、展示会、セミナー等)やアンケート、広告主等の製品やサービスのご案内をさせていただきます。このほか、個人情報取得に関するご説明はhttp://nkb.jp/registerをお読みいただき、ご同意のうえ、お申し込みください。

ありがとうございました。

お申し込みについて

上記申込欄に必要事項をご記入の上、FAXでお送りください。後日、受講券と請求書をお送りします。

※受講料は開催日(受講開始)前日までに振り込みください。お申し込み後のキャンセル、ご送金後の返金はお受けいたしかねます。代理の方が出席くださいますようお願いいたします。
※主催者、講師等の諸般の事情により、また最少開催人員(15名)に達しない場合、開催を中止させていただく場合があります。予めご了承ください。
※上記にご記入いただいた情報に不明な箇所があった場合等、確認のためにe-mail・電話等での連絡をさせていただきます。
※お申し込みいただいた時点で本セミナーが満席の場合は、事務局からご連絡します。キャンセルが出た場合は事務局からご連絡させていただきますので、その時点で、改めて受講のご希望を確認させていただきます。
※講師企業と競合すると考えられる製品やサービスなどを提供される会社の方は、受講開始前、受講開始後を問わず、主催者の判断に基づき受講をお断りさせていただきます。
※会場までの交通費や宿泊費は、受講される方の負担となります。
※講師の急病、天災その他の不可抗力、又はその他やむを得ない理由により、講座を中止する場合があります。この場合、未受講の講座の料金は返金いたします。複数回連続して開催する講座の場合は、全体の開催回数の中で、中止した講座の回数分を回数による均等割でお客様へ返金します。

お問い合わせ

日経BP社読者サービスセンター セミナー係
TEL:0120-255-255 (土日祝日を除く、9:00~17:00) (携帯電話・PHSからは03-5696-1111) FAX:03-5696-1139
http://nkb.jp/ncs171026

